

子育て支援イベント「遊びの森 I Nアリーナ 2014」に参加協力

おもちゃの病院開院 大盛況 47個お受けする！！

平成26年9月26日(金) 午前10時～午後2時まで平塚アリーナで社会福祉協議会主催「遊びの森 I Nアリーナ 2014」が賑やかに開催された。

子育て支援という大事なこのイベントの趣旨に賛同したおもちゃの病院ドクターくるりんは全面協力し参加開院した。子育て中のお母さんからのニーズも高く取り扱ったおもちゃは47個に及んだ。

遊びの森 I Nひらつかアリーナおもちゃの病院…



伸び伸びわくわく 広い体育館も狭くなった！

いつもながら大盛況のこのイベント。

ここだけは少子化どころではない。湧き上がる子供たちの大歓声。

乳児や幼稚園・保育園に通っていない在宅児に遊びの場を提供し、子育て中の

悩みや、孤立感を解消することを目的に平塚市・平塚市社会福祉協議会が主

催、趣旨に賛同し我がチームドクターくるりんはスタッフ7名が出動協力。主

任児童員さん2名が受付時のお手伝いや子供の世話ヘルプに加勢いただいた。



お受けした故障おもちゃは47個に及んだ。



受付に活躍する主任児童員さん

47個の受付おもちゃ一覧

- ① アンパンマンのショベルカー、②こども携帯計算機、③シティーバス、④刀、⑤コンボイ、⑥プラレール、⑦レジスター、⑧成田エクスプレス、⑨1年生の計算機、⑩スワード、⑪ランプ、⑫充電銃、⑬妖怪ウォッチ、⑭ワン君、⑮恐竜ジャー、⑯プラレール、⑰こども携帯電話、⑱マラカス、⑲トーマス他6台、⑳チビロク、㉑デズニーボックス、㉒太鼓、㉓救急車、㉔トミカリフト、㉕三輪車グッズ、㉖ハーブの、㉗パトカー、㉘救急車、㉙プラレール、㉚プラレール、㉛コマツリフト、㉜アヒルに親子
- ㉝アンパンマンのペンゲーム、㉞わくわくコンサート、㉟ダンプカー、㊱木の海老さん、㊲アヒルさん、㊳風車、㊴トーマス、㊵救急車、㊶ハニーさん、㊷お料理プレート、㊸ワン君、㊹ハローキティ、㊺新幹線、㊻こども携帯、㊼あいうえお

復活Tドクターは11個受付、3個即修繕退院、8個入院となった
 凧博士のTドクター8個、チーフのAドクターは10個
 紳士のUドクターも10個、整備士Iドクターは7個
 院長のYドクター、精密仕様の1個に苦戦されていた。

アリーナ誕生秘話…国と市と市民の絆と河川環境整備が生んだ誇りの施設…

堤防によって洪水氾濫から守られている住居や農地のある側を堤内地、堤防に挟まれて川が流れている側を堤外地と呼ぶ。感覚的には逆に堤防の内側、堤防の外側とを感じるが、堤内地が人々が住む場所＝川の外、堤外地は川の中の河川敷である。さて、その堤内地である国有地5万平米と堤外地の平塚市所有地13万平米が平成9年等価交換された。数字的には平塚市の土地13対国（建設省）5交換では平塚が大損みみたいだが、実は正反対。なにせ13は河川敷、5が堤防に守られた普通の土地である。しかも交換後の利用実態は、驚くべき平塚の超メリット。

目出度く平塚市の土地になった堤外地5万平米には、今回の幼児子育て支援イベント「遊びの森」会場のひらつかアリーナとベルマーレ拠点サッカー練習場が広がる。国の土地に変わった堤外地には、春はポピー、秋はコスモス100万本の咲くお花畑「馬入光と風の花畑」、子供にとって興味津々の水辺の楽校や緑のサッカーコートが展開。



↑堤外地＝ボランティアが雑草取りにがんばるお花畑を挟みサッカーコートと水辺の楽校

アリーナ建つ堤内地と合わせ18万平米は河川環境を楽しみ憩う市民誇りの場所と変貌した↓



幼児が大集合したアリーナ



今日も頑張るドクターくるりんスタッフ 皆さんお疲れ様でした。